

県議会おおい

No. 105

大分県議会
平成29年2月発行

題字は、大分県立別府鶴見丘高等学校
3年 後藤 香菜 さんの作品です。

—— 平成28年度 出前県議会 —— 議員と語ろうイン中部地域(由布市)



～出前県議会～

平成28年11月14日、由布市に田中議長を始め12人の議員が出向き出前県議会を開催しました。「由布市の災害復興と地域振興について」をテーマに、地元の5名の方々が意見発表を行い、その後、活発な意見交換を行いました。

目次

- ▶平成28年第4回定例会..... 1
- ▶委員会の活動状況..... 4
- ▶トピックス
県議会今後の動き..... 6



平成28年第4回定例会

11月25日から12月14日までの会期20日間で開催しました。

開会後、田中議長による諸般の報告に続き、景気回復の後押しや防災・安全対策強化のための事業に係る経費などを盛り込んだ平成28年度大分県一般会計補正予算案や、平成29年春に開館予定の大分県立埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例の制定案など、議案18件が提出され、広瀬知事が提案理由を説明しました。

12月5日から3日間にわたり行われた一般質問では、12人の議員が登壇し、東九州新幹線や地域医療の確保などについて、執行部と活発な議論を行いました。

また、5日には、継続審査となっていた決算議案15件について採決を行い、全て可決・認定、また、議員提出議案1件を可決しました。

各常任委員会は、8日及び9日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。

最終日には、知事提出議案20件を可決・同意、議員提出議案5件、委員会提出議案1件を可決、請願1件を採択、7件を継続審査とし、閉会しました。

会期中には延べ236人の方々が、本会議や委員会を傍聴されました。

一般質問

12月5日(月)



おおいた維新の会
桑原 宏史 議員

人口減少社会への対応
東九州新幹線



自由民主党
古手川 正治 議員

アジアを中心とした経済交流
マリンカルチャーセンターほか



県民クラブ
尾島 保彦 議員

防災対策
交通事故対策



自由民主党
衛藤 博昭 議員

産科医療体制
障がい児者の歯科診療

12月6日(火)



県民クラブ
平岩 純子 議員

学校教育を巡る諸課題
有機農業



自由民主党
木付 親次 議員

六郷満山開山1300年祭
小原・黒津崎海岸



県民クラブ
玉田 輝義 議員

子育て満足度日本一
高齢運転者の認知症対策



自由民主党
毛利 正徳 議員

第4次産業革命
働き方改革

12月7日(水)



自由民主党
麻生 栄作 議員

国民文化祭の本質的意義と大分の魅力
「運命や人生を切り拓く」教育の使命



公明党
戸高 賢史 議員



自由民主党
濱田 洋 議員

健康寿命日本一
医療政策



県民クラブ
馬場 林 議員

働き方改革
森林・林業



自由民主党
濱田 洋 議員

農業政策
美しい農山村づくり

東九州新幹線

問

人口減少は新幹線のよう
な大量一括輸送システム
にとっては不都合なトレンドであ
る。県独自の期成会を立ち上げ構
想実現に取り組むことを決断した
理由を伺う。

答

平成28年1月の安倍総理の
施政方針演説では、新幹線
等により地方と地方をつなぐ「地
方創生回廊」を創り上げ、地方に
成長のチャンスを生み出すことが
示されている。また、国の第二次
補正予算では、新幹線の整備加速
に必要な経費が計上された。
こうした国の動きに加え、他の
基本計画路線の地方自治体でも、
整備に向けた様々な活動が活発化
しており、東九州新幹線について
も決断する時期に來たと多くの方
が感じていたと思う。

政策を担う者としては、新幹線
の整備と地方創生を車の両輪とし
て取り組むことで、人口減少に歯
止めをかけ、高い費用対効果を実
現していくことが大事である。
東九州新幹線は子や孫の将来に
関わるビッグプロジェクトであ
り、これまで慎重に状況をみてい
たが、国の動向や県民からのご意
見等を総合的に勘案して、推進す
ることを決断し、県期成会を立ち
上げ、国に対して要望を行ったと
ころである。

地域医療の確保

問

地域包括ケアの推進は、在
宅介護のための資源が必
要であり、かつ、訪問診療、訪問
看護など医療系の支援が欠けな
い。在宅医療実施機関の不足、在
宅介護者の不在解消など、今後の
地域医療をどのように守っていく
のか伺う。

答

後期高齢者が患者の中心と
なった昨今では、病气と共
存しつつ在宅生活を送る人を「地
域全体で治し支える医療」への転
換が求められており、本県が全国
に先駆けて進めてきた地域包括ケ
アを一層推進し、医療・介護の連
携強化を図ることが大事である。
なかでも大きな課題となるのが
在宅医療の充実と地域医療を支え
る医師の確保である。

自治医科大学卒業医師に加え、
大分大学医学部に設けた地域枠も
拡充するなど、地域医療を担う医
師の養成と県内定着に引き続き力
を入れていく。加えて、訪問看護
ステーションのサテライト化の促
進等も行っていく。
また、在宅介護では、認知症高
齢者グループホームなど介護基
盤の整備を着実に進めていくと共
に、介護人材の確保についても、

介護福祉士修学資金の貸与や職場体験等を通じた介護現場への就業促進に努めていく。

今後とも、大学や市町村等と緊密に連携しながら、地域包括ケアシステムの構築により、誰もが住み慣れた地域で安心して医療や介護を受けられるよう取り組んでいく。

高齢運転者

問 高齢運転者の認知症対策のための道路交通法が改正される中、認知症を発症したら自動車運転をしない・させない社会づくりの合意形成が必要ではないか。

答 国は、高齢者が加害者となる交通事故が増加している中、道路交通法を改正して認知症対策を強化することとしている。

高齢運転者については、運転に不安を感じていながらも、生活上の必要性からやむを得ず運転を継続している実態もある。

高齢者の交通事故を抑止するためには、高齢者が運転をしないでよい環境づくりが極めて重要であるため、高齢者の運転免許自主返納に積極的に取り組んでいる。

まず大事なことは、高齢者自身が自分の身体能力を認識することである。2つ目は、当事者だけでなく、ご家族などにも運転免許自主返納制度を知ってもらうこと、

3つ目は、自家用車の代替となる地域における移動手段の確保などの生活支援である。

様々な努力により、認知症のおそれのある高齢者が運転をしない、させないという機運を醸成していくことが大事である。

働き方改革

問 本県において、過労死ラインとされる月80時間以上の時間外・休日労働があった事業所は4分の1近くあり、県民の総労働時間も増加傾向である。今後、本県における働き方改革を実現するためどのように取り組んでいくのか伺う。

答 本県における一般労働者の年間総労働時間は全国平均より長く、高止まり状態にある。

働き方改革を進めるためには、経営者が責任を持って社員の勤務状況を把握し、具体的に取り組むことが重要であるが、長年続けてきた働き方を企業だけで改革してきたことは容易ではない。

こうしたことから、働き方に関する諸課題に取り組むため、「大分県働き方改革推進会議」を立ち上げ、議論を始めることにした。働く人一人ひとりが人生を豊かに生き、同時に企業の生産性の向上につながっていくような、誰もが生き生きと活躍できる大分県の実現に向け、働く人の立場に立つた働き方改革をしっかりと進めていく。

可決された議案（議員提出）

●意見書（6件）

- ▽安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書
- ▽森林吸収源対策の財源確保を求める意見書
- ▽「米政策改革」に対する稲作農家の不安払拭、経営安定と担い手経営の再生産の確保を求める意見書
- ▽ヒートポンプ給湯機の低周波音による健康被害の対策向上を求める意見書
- ▽ホームドアの設置及び「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書
- ▽厚生労働省における受動喫煙防止対策強化措置に関する意見書

可決された議案（委員会提出）

●会議規則（1件）

- ▽大分県議会会議規則の一部改正について

採択された請願（1件）

- ▽厚生労働省における受動喫煙防止対策強化措置に関する意見書の提出について

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

可決・承認等された議案（知事提出）

●予算関係（1件）

- ▽平成28年度大分県一般会計補正予算（第5号）

●条例関係（13件）

- ▽病院及び診療所の人員及び施設等に関する基準を定める条例の一部改正について
- ▽大分県病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ▽大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について
- ▽大分県立社会教育総合センターの設置及び管理に関する条例等の一部改正について
- ▽大分県立埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例の制定について

●人事関係（1件）

- ▽教育委員会委員の任命について

●決算関係（15件）

- ▽平成27年度大分県病院事業会計決算の認定について
- ▽平成27年度大分県電気事業会計利益の処分及び決算の認定について

- ▽平成27年度大分県一般会計歳入歳出決算の認定について

●その他（5件）

- ▽当せん金付証券の発売について
- ▽工事請負契約の締結について

委員会の活動状況

常任委員会

<p>総務企画委員会</p> <p>○委員会の開催状況 12月8日及び9日に委員会を開催。8日の委員会では、ラグビーワールドカップ2019の大分開催に向けて参考人の方から意見聴取を行いました。9日の委員会では、付託された議案7件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。</p> <p>(付託を受けた議案 等) ・大分県の事務処理の特例に関する条例の一部改正について ・当せん金付証券の発売について ほか</p>	<p>福祉保健生活環境委員会</p> <p>○委員会の開催状況 12月9日に委員会を開催。付託を受けた議案4件、請願5件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。</p> <p>(付託を受けた議案 等) ・病院及び診療所の人員及び施設等に関する基準を定める条例の一部改正について ほか</p>
<p>商工労働企業委員会</p> <p>○委員会の開催状況 12月9日に委員会を開催。県内における最近の労使紛争の傾向や、雇用・労働に関する諸課題を調査する目的で参考人の方から意見聴取を行った後、付託された請願1件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。</p> <p>(付託を受けた議案 等) ・九州電力川内原子力発電所と四国電力伊方原子力発電所の即時停止を求める意見書の提出について</p>	<p>農林水産委員会</p> <p>○委員会の開催状況 12月8日に委員会を開催。付託を受けた議案1件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。</p> <p>(付託を受けた議案 等) ・平成28年度大分県一般会計補正予算(第5号)のうち、農林水産委員会に関する部分</p>
<p>土木建築委員会</p> <p>○委員会の開催状況 12月8日に委員会を開催。付託を受けた議案6件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。</p> <p>(付託を受けた議案 等) ・工事請負契約の締結について ・工事請負契約の変更について ほか</p>	<p>文教警察委員会</p> <p>○委員会の開催状況 12月9日に委員会を開催。付託を受けた議案5件、請願2件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。</p> <p>(付託を受けた議案 等) ・大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について ・大分県立社会教育総合センターの設置及び管理に関する条例等の一部改正について ほか</p>

特別委員会

<p>地方創生対策特別委員会 人口減少・少子高齢化対策特別委員会 県土強靱化対策特別委員会</p> <p>平成27年7月に設置された特別委員会のうち、上記3委員会が調査結果をまとめ、第4回定例会の閉会日に本会議場で報告を行いました。その後、特別委員会では初となる知事に対する提言を行いました。</p> 	<p>行財政改革・グローバル戦略特別委員会</p> <p>10月26日、大分県立由布高等学校で国際教育旅行や学校交流について調査を行いました。</p> <p>当日は、昨年2月、当委員会が教育旅行(修学旅行)の誘致を行った台湾から、高校生など25名が来県し、委員や大分県立由布高等学校の皆さんと交流を行いました。</p> 
---	---

議会運営委員会

○県外所管事務調査

11月8日から10日にかけて実施しました。

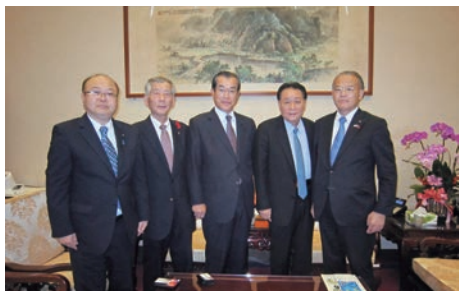
本県の議会改革の参考とするため、平成27年度に議会改革検討委員会を設置した青森県議会及び議会改革度調査で例年上位に位置する神奈川県議会を調査しました。また、全国都道府県議会議長会では他の都道府県議会における議会改革の特徴的な取組などについて調査しました。



海外調査・研究を実施しました。

台湾

12月1日から4日までの4日間、議長を含め4名の議員が、文化、経済、観光など幅広い分野での台中市との交流推進に向けて、台中市議会、台中市、(公財)交流協会台北事務所などを訪問しました。



アメリカ・キューバ

12月15日から23日までの9日間、田中議長を団長とする9名の議員が、障がい者支援、防災対策、ベンチャー企業の育成など今後の県政の重点課題について調査・研究するため、アメリカ・キューバを訪問しました。



平成28年 大分県議会 10大ニュース

- ①熊本地震の復興対策を総理大臣・県選出国會議員に要望し、九州ふっこう割等、復興対策の早期実現に貢献
 - ②9月の第3回定例会において初の代表質問を実施
 - ③選挙権年齢の18歳引き下げを受け、若者向け啓発事業を実施
 - ④台湾との友好交流促進
 - ⑤政務活動費の使途基準マニュアルの見直しのため、政務活動費検討協議会を立ち上げ
 - ⑥「健康寿命日本一おおいた県民運動推進条例」(仮)の制定に向け、「おおいた元気創造検討会議」で検討
 - ⑦大分県でのラグビーワールドカップ2019開催に向けた対応
 - ⑧「政策力向上研修会」への参加を一般にも開放し、市町村議会議員の出席も定着
 - ⑨「開かれた議会」を目指し、「出前県議会」と「県議会議長と市町村議会議長との意見交換会」を開催
 - ⑩今後の県政の重点課題を調査・研究するため、田中議長を団長に議員9名をアメリカ・キューバへ派遣
- 【番外】大分トリニータJ3優勝！1年でJ2復帰(大分トリニータを支援する議員連盟で応援)

県議会をご覧になりませんか？

①本会議場や委員会室で見る。

本会議と委員会は傍聴することができます。会議当日、議会棟1階傍聴受付にて先着順で傍聴券を交付します。

②インターネットで見る。

県議会ホームページでは、一般質問など本会議等の模様について生中継を行っています。また、過去の本会議等についても中継録画を配信しています。

③ケーブルテレビで見る。

次のケーブルテレビで、生中継若しくは録画中継を行っています。放送日時等は各ケーブルテレビ局にお問い合わせください。
・大分ケーブルテレコム・KCVコミュニケーションズ
・大分ケーブルネットワーク・CTBメディア

トピックス

◎第5回県議会議員政策力向上研修会

11月4日、「豊かな温泉と観光資源を活用した国内外誘客の推進」をテーマに、(株)サラヴィオ化粧品 濱田茂代表取締役会長及び(一社)杵築市観光協会 三浦孝典事務局長を講師にお招きしご講演いただきました。本県の魅力を近隣自治体と広域的に連携して、国内外に情報発信を行うことの重要性など、今後の観光戦略を考えていくうえで参考となる研修会でした。



◎第91回県議会56分勉強会

第4回定例会会期中の12月6日、ホルトホール大分統括責任者 是永幹夫館長を講師にお招きし、「2巡目・マグマの国民文化祭」『創造県おおいた』飛躍の年」と題して、ご講話いただきました。



◎「飲んだらのれん」交通安全街頭啓発活動

11月21日、ガレリア竹町ドーム広場で平成19年に議員提案により制定された「大分県飲酒運転根絶に関する条例」(通称「飲んだらのれん条例」)の周知と飲酒運転根絶への協力を求めることを目的に街頭啓発を行いました。この活動は、条例制定以降、毎年実施しています。



◎議員定数問題調査会発足

第4回定例会において、議員定数問題調査会を設置し、12月6日に第1回の調査会を開催しました。この調査会は、大分県議会議員の定数(現在43名)や選挙区の区割り、選挙区ごとの定数について協議・調整するため設置したもので、平成30年第1回定例会までに結論を出すことにしています。



◎議員出前講座

議員が講師となり、県議会の仕組みや役割、議会の最近の話題などを分かりやすく説明し、議会を身近に感じてもらおう議員出前講座を実施しています。今年度は1月末までに7回実施しました。



大分県立竹田高等学校

県議会今後の動き

平成29年第1回定例会の日程(予定)

- 2月27日(月)開会
- 3月2日(木)本会議
- 6日(月)本会議・常任委員会
- 7日(火)8日(水)本会議(代表質問)
- 9日(木)13日(月)本会議(一般質問)
- 14日(火)27日(月)予算特別委員会
- 22日(水)23日(木)常任委員会
- 29日(水)閉会

テレビ広報番組のお知らせ
「県議会タイム」
 TOSテレビ大分
 <平成29年3月31日(金)午後2時50分から>
 第1回定例会の概要などを放送します。ぜひご覧ください。県議会ホームページでもご覧になれます。

編集 大分県議会議務局
 大分市大手町3丁目1-1
 TEL 097-506-5035
 FAX 097-506-1785

県議会ホームページでは…

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/> 大分県議会 検索

～子ども向けサイト「おおいた県議会キッズ」もあります～

お問い合わせは 県議会議務局 各課まで
 【総務課】議会庶務、情報公開など TEL097-506-5019
 【議事課】本会議、常任委員会、傍聴など TEL097-506-5022
 【政策調査課】調査業務、特別委員会、議会広報など TEL097-506-5035

点字版・音読版
 「県議会おおいた」のご案内
 本紙の点字版・音読版を作成しています。また、最新号の音読版はホームページにも載せています。詳しくは議会議務局政策調査課まで。